

食品ロスの経済損失及び 温室効果ガス排出量の算出について

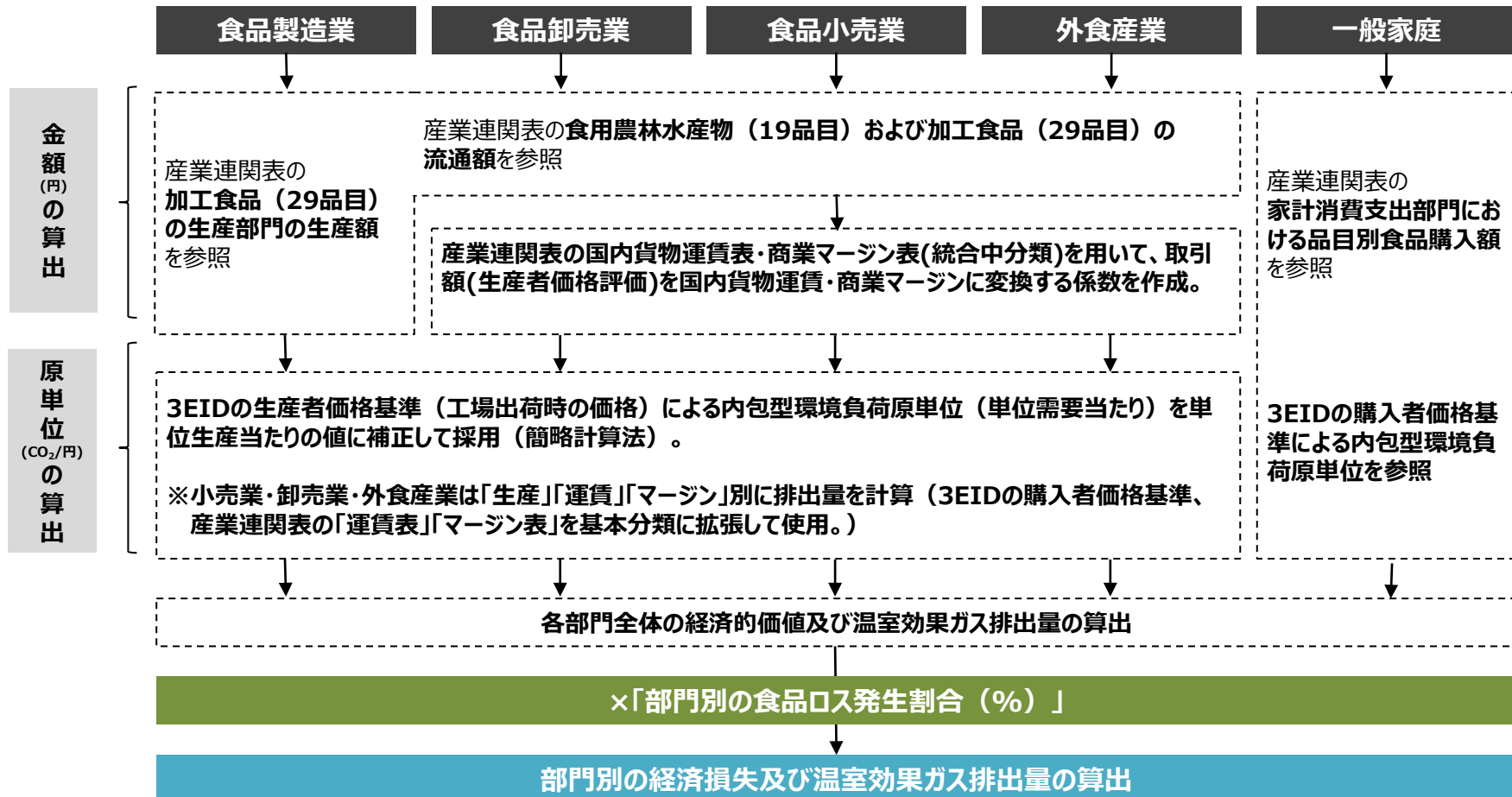
令和 5 年度消費者庁請負事業「食品ロスによる経済損失及び温室効果ガス排出量に関する調査業務調査報告書」を基に作成

令和 6 年 5 月
消費者庁

推計の概要

- 食品に関連する各部門について、生産・流通等に伴う温室効果ガス排出量・経済的価値を算出の上、品目別の食品ロス発生割合を乗じる推計を実施する。

経済損失及び温室効果ガス排出量の推計のフロー



食品ロスによる経済損失及び温室効果ガス排出量の推計結果

これまで、食品ロスは数量のみ推計の上公表していたところ、国民一人一人が食品ロス問題をより身近なこととして実感していただくため、2021年度食品ロス量推計値を基に経済損失及び温室効果ガス排出量を推計。

2021年度食品ロス量(523万トン)を基に推計した結果、食品ロスによる経済損失の合計は4.3兆円、食品ロスによる温室効果ガス排出量の合計は1,138万t-CO₂となった。

この推計値を国民一人あたり^{※1}に換算すると経済損失は34,341円/人/年^{※2}、温室効果ガス排出量は90kg-CO₂/人/年^{※3}となった。

食品ロスによる経済損失及び温室効果ガス排出量の比較・イメージ

令和3年 農業・食料関連産業の市場規模(国内生産額)との比較



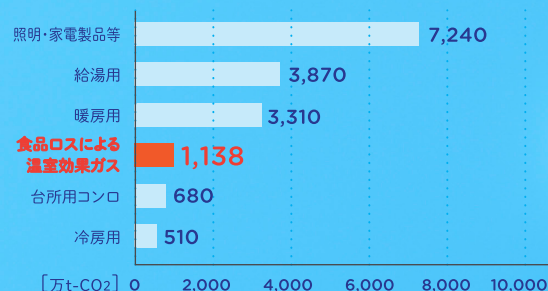
(出所)農林水産省
「令和3年農業・食料関連産業の経済計算(概算)」を基に作成

国民一人当たりの食品ロスによる
経済損失のイメージ

¥94/日/人

毎日、日本全体でおにぎり
約1億個分のお金を失っている計算に！

令和3年 家庭部門の用途別CO₂排出量との比較



(出所)環境省
「2021年度(令和3年度)の温室効果ガス排出・吸収量(確報値)」を基に作成

国民一人当たりの食品ロス削減による
CO₂削減効果イメージ

食品ロスを6%減らすと、
エアコン設定温度変更と
同等のCO₂削減効果

エアコン設定温度を27℃から28℃にした場合の
年間のCO₂削減効果を13%とした時の計算による。



27℃ ➡ **28℃**



※1 国民一人あたりは住民基本台帳の2022年1月1日時点の人口に対する値。 ※2 経済損失は各部門(事業部門・家庭部門)にまたがるものを合計したものであり、食品ロスの削減による経済上の利得が全て家計に裨益するものではない。

※3 温室効果ガス排出量は各部門にまたがるものを合計したものであり、食品ロスからの排出が全て家庭からの排出としてカウントされるものではない。